

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
精神保健 Mental Health		児童教育学科 初等教育学専攻	2年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	福屋 いずみ	
概要				
<p>精神の健康とは何であるかについて、心理学的あるいは医学的な視点から理解することを目的とする。社会には様々な精神疾患があり、自分自身あるいは身近な人に起こり得ることである。それら一つひとつの特徴について認識を深める。</p>				
到達目標				
<p>(1) こころの健康について説明することができる。  (2) 精神疾患について、理解を深め特徴を説明できる。また支援や対応について考え、自分の意見を述べることができる。  (3) これまでの精神疾患についてのこれまでの認識をふりかえり、自己あるいは他者をさらに深く理解することができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 精神保健とは何か（ガイダンス）</li> <li>2 こころの健康①：適応と不適応、フラストレーションとコンフリクト</li> <li>3 こころの健康②：防衛機制</li> <li>4 ストレスとこころの関係</li> <li>5 コーピング</li> <li>6 発達理論から考える問題行動</li> <li>7 パーソナリティ障害群</li> <li>8 神経発達症群/神経発達障害群①：自閉症スペクトラム、ADHD、LD</li> <li>9 神経発達症群/神経発達障害群②：支援の方法を考える</li> <li>10 双極性障害および関連障害群</li> <li>11 物質関連障害および嗜癖性障害群①：メカニズムを知る</li> <li>12 物質関連障害および嗜癖性障害群②：治療の方法を知る</li> <li>13 心的外傷およびストレス因関連障害群</li> <li>14 精神疾患の世界を体感してみよう</li> <li>15 まとめ</li> </ol>				
テキストおよび 参考文献	<p>プリントを配布する  （参考文献）滝沢 龍（2016）精神疾患・メンタルヘルスガイドブック：DSM-5から生活指針まで 医学書院</p>			
メッセージ な	<p>精神疾患は、一般的にこころの病と思われがちであるが、脳機能の障害から起こる疾患もある。まずは知識をつけ、自分自身や他の人がなぜそのような行動をするのかについて考えてほしい。</p>			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) こころの健康について説明できる。	こころの健康について理解し、十分に説明することができる。	こころの健康について理解し、概ね説明することができる。	こころの健康について理解し、最低限の用語を説明することができる。	こころの健康について理解できず、説明することができない。	定期試験 (知識・理解)	25%
(2) 精神疾患について、理解を深め特徴を説明できる。また支援や対応について考え、自分の意見を述べることができる。	各精神疾患について理解し、特徴を十分に説明することができる。	各精神疾患について理解し、特徴を概ね説明することができる。	各精神疾患について理解し、最低限の特徴を説明することができる。	各精神疾患について理解できず、特徴について説明することができない。		25%
	支援や対応について自分の意見を持ちそれを十分に表現することができる。	支援や対応について自分の意見を持ち、それを概ね表現することができる。	支援や対応について自分の意見をもっているが、それを表現することができない。	支援や対応について自分の意見もてず、表現することができない。	課題 (思考力・判断力・表現力・関心・意欲)	25%
(3) これまでの精神疾患についてのこれまでの認識をふりかえり、自己あるいは他者をさらに深く理解することができる。	内容について、これまでの自己の経験と関連づけて十分に説明することができる。	内容について、これまでの自己の経験と関連づけて概ね説明することができる。	内容について、これまでの自己の経験と関連づけているが、説明が不十分である。	内容を踏まえ、これまでの自己の経験と関連づけることができず、説明することができない。		25%